

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備科	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	63 (一般教養 1 単位を含む)	38 単位	0	24 単位	0	0
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		211 人	176 人	13 人	0 人	13 人	
カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)							
(概要) 学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする 1 年次：915.2 時間 (32 単位) 2 年次：894.4 時間 (31 単位) の専門教育を行う。							
成績評価の基準・方法							
(概要) 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。							
〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。							

2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。
学修支援等
(概要) クラス担任制を取り、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
95 人 (100%)	0 人 (0%)	95 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
193 人	3 人	1.55%
(中途退学の主な理由) 進路に迷い、意欲不足となったため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談の実施、スクールカウンセラーの受診サポート 等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		一級自動車工学科		－		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	127 (その他一般教養 13 単位を含む)		58 単位		56 単位			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
135 人		89 人	0 人	17 人		0 人		17 人	
カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)									
(概要) 学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする 1 年次：915.2 時間 (32 単位) 2 年次：894.4 時間 (31 単位) 3 年次：931.2 時間 (33 単位) 4 年次：1012.8 時間 (31 単位) の専門教育を行う。									
成績評価の基準・方法									
(概要) 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。 〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が 7 0 点以上を合格とします。 ※国家 2 級資格取得のための特定の教科においては、8 0 点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定 (優・良・可)、成績順位が決められます。 ※優：8 0 点以上、良：7 0 点以上、可：7 0 点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。									
卒業・進級の認定基準									
(概要) 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。									
学修支援等									
(概要) クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う									

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	1 人 (1%)	13 人 (92.9%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
（就職指導内容） 外部講師による就職授業			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、一級小型自動車整備士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
87 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
定期的な個人面談の実施、スクールカウンセラーの受診サポート 等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		自動車整備・カーボディマスター科		○		ー	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
3 年	昼	100 (一般教養 1 単位を含む)	54 単位		45 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60 人		38 人	3 人	14 人		0 人		14 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
(概要)									
学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする									
1 年次：915.2 時間（32 単位）									
2 年次：894.4 時間（31 単位）									
3 年次：990.4 時間（37 単位）									
の専門教育を行う。									

成績評価の基準・方法
（概要） 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。 〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	16 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
（就職指導内容） オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、自動車車体整備士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	2 人	4.89%

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 日産販売会社			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、 就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、B級ライセンス			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談の実施、スクールカウンセラーの受診サポート 等		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	自動車整備・トータルマスター科		—		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験		
4 年	昼	136 (一般教養 1 単位を含む)	67 単 位	0	68 単 位	0		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20 人		19 人	0 人	15 人	0 人	15 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする

1 年次：915.2 時間（32 単位）

2 年次：894.4 時間（31 単位）

3 年次：990.4 時間（37 単位）

4 年次：993.6 時間（36 単位）

の専門教育を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）

学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。

可否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈判定基準〉

1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。

2) 学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。

3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。

※優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満

※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。

学修支援等

（概要）

クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う
状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 日産販売会社			
（就職指導内容） オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、自動車車体整備士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	55.6%
（中途退学の主な理由） 入学後に他の職種に変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談の実施、スクールカウンセラーの受診サポート 等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士			
工業		工業専門課程		国際オートメカニク科		○		－			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類							
				講義		演習		実習		実験	
3 年	昼	120		29 単 位		0		24 単 位		0	
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
40 人		54 人		54 人		2 人		0 人		2 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする 1 年次：929.5 時間 2 年次：961.6 時間 3 年次：833.6 時間 の専門教育を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。 〈判定基準〉 1）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2）学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。 3）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人(2026 年度設立学科のため無し) (0%)	0 人(2026 年度設立学科のため無し) (0%)	0 人(2026 年度設立学科のため無し) (0%)	0 人(2026 年度設立学科のため無し) (0%)
（主な就職、業界等） 日産販売会社			
（就職指導内容） オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人(2026 年度設立学科のため無し)	0 人(2026 年度設立学科のため無し)	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
自動車整備科	240,000 円	642,000 円	410,000 円	実験実習費、施設設備費
自動車整備・カーボ ディマスター科	240,000 円	642,000 円	410,000 円	実験実習費、施設設備費
自動車整備・マス ターメカニック科	240,000 円	642,000 円	410,000 円	実験実習費、施設設備費
自動車整備・トー タルマスター科	240,000 円	642,000 円	410,000 円	実験実習費、施設設備費
一級自動車工学科	240,000 円	642,000 円	410,000 円	実験実習費、施設設備費
国際オートメカニ ック科	240,000 円	490,000 円	360,000 円	実験実習費、施設設備費
修学支援（任意記載事項）				
特待生奨学金制度 25 万円 若干名、遠隔地奨学金 25 万円 若干名、ファミリー支援制度 24 万円 全員、企業推薦奨学金 25 万円 全員、留学生特別奨学金制度 25 万円 全員				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2026/06/FY26_jikotennkennhyouka.pdf		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校の実施する自己点検評価に対し、学校関係者による「学校関係者評価委員会」を設けて外部 評価を実施し、学校運営の継続的改善を図る。 ・主な評価項目：教育活動、学修成果、就職等の学生支援、学生募集、財務、等 ・評価委員会の構成：委員定数は最低 3 名。少なくとも①自治体代表、②企業代表、③団体代表、④卒業生代表の各分野から 1 名を選任。 ・評価結果の活用：6 月迄に前年度を対象に評価を受け、当年度の活動で、その改善方策 を実施する。総責任者は校長。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
名古屋市港区役所 区政部 部長	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日	自治体代表
東海日産自動車株式会社 エリア長	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日	企業代表
愛知県自動車整備振興会 部長	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日	団体代表
愛知日産自動車株式会社	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	卒業生代表

第三者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価委員会開催後にアップロード
(備考)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nissan-gakuen.ac.jp/school/aichi/
--